

YOKOSUKA LINK

想いつながら、
地域の力へ。

vol. **3**

市民公益活動団体の
魅力を発信

Sep.2026





ホタル舞う里山を未来へつなぐ

津久井の自然を守る会

代表
三澤 幸子さん

ホタルの光が照らす
津久井の自然

横須賀市津久井地区で27年にわたる活動続ける「津久井の自然を守る会」。その始まりは1999年、武山山中で深刻化していた不法投棄の問題がきっかけでした。「身近な緑を自分たちの手で守りたい」と地域住民8人が立ち上がり、活動をスタート。発足後は、不法投棄の実態を伝えるための調査や清掃活動を継続。毎年ごみウォッチングを実施し、行政へ改善を訴え続けてきました。その結果、2010年、12年に横須賀市によるごみ撤去が実現し、計2回で2トントラック約30台分にも及ぶ廃棄物が回収されました。

活動が続ける中で、大きな存在となったのが、津久井5丁目周辺に生息するホタルです。活動を始めて間もなくその存在に気付き、ホタル研究の第一人者として知られた故・大場信義先生（元横須賀市自然・人文博物館学芸員）に相談。現地調査の結果、貴重なホタルの自生地があると判明しました。当時は見渡す限りホタルが舞い、ゲンジボタルとヘイケボタルの両方が生息する珍しい環境であることも明らかになりました。

現在も会員約120人が協力し、ごみウォッチングや生態系を支える湿地や田んぼの保全活動に取り組み、未来へ残すべき豊かな自然を守り続けています。

未来の担い手へ自然を伝える

同会では2007年から津久井小学校の総合的な学習にも協力し、田植え体験や自然観察、不法投棄防止の看板作りなどを実施。子どもたちは自然に触れながら、その大切さを学び、自分たちのまちに目を向けるきっかけになっています。また、長年の取り組みが高く評価され、2023年には「横須賀いいね★エコ活動賞」功労賞なども受賞しています。

「頑張っているねと言っていたけると励みになります」と三澤さん。同会では、年会費500円で会員を募集しており、毎月届く会報やホタル観察会などを通じて、活動の様子を知ることができます。豊かな自然とホタルを未来につなぐ取り組みを、あなたも応援してみませんか。

和気あいあいと

「ここはもう少し平らにしようか」と声を掛け合いながら田んぼを整備するメンバー。作業中も笑顔と会話が絶えず、和やかな時間が流れています。



泥んこになって大はしゃぎ！

足を取られながらも笑顔で田植えに挑戦する子どもたち。自然の中での貴重な体験が、地域への関心を育むきっかけに。

秋の収穫が
今から楽しみ！



活動の合間に持ち寄ったお菓子上で小休憩♪仲良くお話を花を咲かせています。

団体情報

津久井の自然を守る会

代表 三澤 幸子

Mail: hey_wa_2010@yahoo.co.jp



地域の中で、自分らしく生きる喜び

代表
土橋 とみ枝さん

特定非営利活動法人 あんしん農園

健康で、地域の中で
暮らし続けてほしい

障害があっても、地域の中で自分らしく暮らし続けてほしい。そんな願いで活動続ける特定非営利活動法人 あんしん農園は、13年前に設立され、現在は10人の利用者が通っています。

代表の土橋さんは、ダウン症の息子を育てる母親でもあります。「障害の有無で別の道を歩むのではなく、地域の中で育つてほしかった」と思いから、息子さんは高校卒業まで一般学級に通いました。卒業後の安心できる居場所の必要性を痛感した土橋さんは、同じ立場の親と当団体を立ち上げました。

設立当初は、同団体が保有する農園でレモンやキウイ、ブルーベリーを無農薬で育て、収穫した果物を使ったジャム作りや販売を中心に活動してきました。現在は「働くこと」に加え、健康づくりにも力を入れています。健康体操やパーカッション、ビックルボールなどを定期的に行うほか、ダンスも日々練習を重ね、年に数回、市内イベントのステージに出演しています。こうした健康づくりと並行しながら、いちごやりんご、キウイを使った手作りジャムの製造をはじめ、手で回して遊ぶきらきら棒やビーズストラップ、ヘアゴムなどの手芸品も製作。商品は店舗やバザー、市内のパン店などで販売し、地域とのつながりを育んでいます。

笑顔で過ごせる毎日が
何よりの喜び

利用者と接する上で大切にしているのは、「障害があるから」と特別扱いしないこと。社会で暮らす一人の大人として、良いことも悪いことも丁寧に伝えていきます。自立につながる支援を心掛け、それぞれの思いに寄り添いながら信頼関係を築いています。

「利用者さんがニコニコして幸せそうに過ごしている姿を見るのが一番うれしい」と土橋さん。商品の販売や見学の受け入れを通じて地域との交流を深めながら、誰もが気軽に立ち寄れる場所づくりを進めています。「地域の中で当たり前に暮らし、笑顔で過ごしてほしい」。その想いを胸に、笑顔が広がる居場所を目指しています。

心も体も弾む、 みんなの ダンスタイム!

作業の後は、みんなで元気にダンス! 身体を動かし、リズムに乗って、はじける笑顔。心も体も健やかに、練習をしています!



「採れた!」が響く笑顔の農園

一粒ずつ丁寧に摘み取りながら、旬のブルーベリーを収穫。みんなで協力し、自然の恵みを楽しむ時間が広がります。

本番に向けて
ダンスの練習中!
練習の成果を見てね!



一瓶ずつ、心を込めた手作りジャム。真心込めた手作業が、美味しい秘訣です。

団体情報

特定非営利活動法人 あんしん農園

代表 土橋 とみ枝

Mail : gogonao@docomo.ne.jp



地域をつなぐ市民活動のパートナー

特定非営利活動法人 YMCAコミュニティサポート

代表
佐竹 博さん

人と人をつなぐ 支援活動

市民活動の相談や団体同士の交流を支える拠点として、多くの市民に利用されている「横須賀市立市民活動サポートセンター」を運営する指定管理団体・特定非営利活動法人YMCAコミュニティサポート。現在、市民活動サポートセンターには774団体が登録し、月に延べ約600団体が利用しています。登録団体の相談や情報発信の支援をはじめ、市民活動団体が交流する「のたろんフェア」などの開催、市民活動やボランティアに関心を持つ人を対象とした相談会や、団体運営・法人化に関する講座などを通して、新たなつながりづくりを後押ししています。

理事長の佐竹さんは、横浜YMCAでさまざまな地域活動に携わる中で、人と人を結び付けることの大切さを実感してきました。その経験を生かし、現在は活動を始めたい人への相談対応や団体同士をつなぐ支援活動に力を注いでいます。「横須賀には市民活動への意識が高い人が多く、各団体が自主的に活動が続けていることが地域の大きな力となっています」と佐竹さん。活動の根底には、YMCAが大切にしてきた「隣人を愛する」という理念があり、一人ひとりの思いを地域の力へと育むため、人や団体をつなぐ役割を全うしています。

いじめを見過ごさない 地域を目指して

近年、特に力を入れてきたのが、いじめ防止の取り組みです。横須賀市の市民協働モデル事業として2024年から「ピンクシャツデー運動」を展開し、行政や学校などと連携し「いじめを見過ごさない」というメッセージを発信しています。事業を通じて築かれたネットワークは、小学生や大人に向けた講座などの継続的な取り組みに発展しています。

「何か始めたいと思ったら、気軽に相談しに来てほしい」と佐竹さん。地域のために活動をする人にとって、市民活動サポートセンターはつながりやアイデアに出会える場所。地域課題を解決するヒントが見つかるかもしれません。

気軽に相談できる 窓口へ！

活動を始めたい人や団体の相談に応じ、活動内容に合わせたアドバイスや団体同士の橋渡しなど、市民活動を幅広くサポート。交流の場として、多くの利用者が賑わっています。



いじめを見過ごさないために

横須賀市の市民協働モデル事業として、行政や学校、市民団体と連携し「いじめを見過ごさない」という思いを地域へ広げる活動を続けています。

困ったことがあれば、
いつでも相談して
ください！



イベント開催に向けた説明会では、参加者の交流を促し、新たなつながりや協力関係が生まれる場にもなっています。

団体情報

特定非営利活動法人
YMCAコミュニティサポート

代表 佐竹 博

Mail : info@yokosuka-supportcenter.jp

HP





音楽の力で、人と動物に笑顔を

特定非営利活動法人 みゅーまる

代表
岡本 和子さん

楽しみながら学ぶ
動物愛護のかたち

音楽と動物愛護を通じて、命の大切さを伝えている特定非営利活動法人みゅーまる。横須賀市を拠点に、元劇団四季俳優による高齢者施設への訪問活動や学校公演、オリジナル音楽劇の上演などを行っています。

活動の大きな特徴は、音楽と動物との触れ合いを組み合わせていること。高齢者施設では犬たちと一緒に訪問し、歌や会話を交えながら利用者との交流を行っています。犬や猫と触れ合うことで自然と笑顔が生まれ、心が和らぐ時間を提供しています。また、介護福祉士の資格を持つ代表の岡本さんは、「利用者だけでなく職員の皆さんにも元気になってほしい」と話し、施設全体が明るくなるようなプログラムづくりを心掛けています。

もう一つの柱が、動物愛護をテーマにしたオリジナル音楽劇です。代表作『ぼくの声こえる?』は、愛護センターに収容された犬の視点から描かれた物語。飼い主との別れや再会を待つ気持ちを通して、命を最後まで大切に「終生飼養」の重要性を伝えていきます。また『ワンライフ』では、保護犬や保護猫を取り巻くさまざまな現実を題材に、動物を迎える責任について考えるきっかけを届けています。作品に込められているのは、「楽しく伝えることで、多くの人に命と向き合ってもらいたい」という想いです。

誰もが自分らしく
参加できる活動へ

みゅーまるの活動は、音楽や動物との触れ合いを通じて、人と動物をつなぐきっかけを生み出しています。学校公演を観た子どもが実際に愛護センターから猫を迎え入れたこともあり、岡本さんは「その子たちが大人になる頃には、殺処分のない社会になってほしい」と願っています。

現在、活動には約100人が様々な形で関わっています。犬と一緒に参加するボランティアやイベント運営など活躍の場は幅広く、「できることを、できる時に」というスタイルで気軽に始められるのも魅力の一つです。「誰かのために何かしたい」という思いを、行動へとつなげるきっかけを与えてくれる活動です。

癒しが届ける 幸せな時間♪

利用者に寄り添いながら、穏やかな時間を届ける元保護犬のココアちゃん。「可愛いね〜」、「いい子だね」と優しい笑顔が広がります。



笑顔いっぱいふれあいコンサート!

子どもたちが歌や音楽を楽しみながら、動物への思いやりや命を大切にする心を育む学校公演。

頑張ったご褒美に
おやつを
おねだり!



優しく頭をなでられて、気持ちよさそうな表情。人も動物も、自然と心がほぐれる時間です。

団体情報

特定非営利活動法人 みゅーまる HP

代表 岡本 和子

Mail : info@myu-maru.org



／ 今注目の支援制度をご紹介！／



Close Up!



ボランティアの学び、はじめてみませんか。
受講料は奨励金で戻ってきます！

市民公益活動人材育成研修受講奨励金

横須賀市では、地域の課題解決や活性化に向け市民公益活動を行う市民の皆さんのために、
かながわコミュニティカレッジの主催講座の受講に対し奨励金をお支払いします。

活動のステップアップに、ぜひご活用ください。

対象者

以下の全てを満たす方

- 横須賀市立市民活動サポートセンター登録団体の会員
※会員でない方も、要件を満たせば可能です。横須賀市地域コミュニティ支援課へお問合せください。
- かながわコミュニティカレッジの主催講座を受講し、終了証の交付を受けた方
- 横須賀市民
- 市税の滞納がない方

奨励金額

ひとり 18,000 円まで

複数の講座に対する奨励金も可能です

奨励金の申込手続きや、
制度の詳しい案内は横須賀市HPをご覧ください。



かながわコミュニティカレッジとは？

ボランティアやNPOなど、地域づくりや社会課題の解決に取り組みたいみなさんの「学びの場」です。年間を通じた多彩な講座により、ボランティアやNPOの活動に必要な知識や技術を体系的に学ぶことができます。

今年度の
年間スケジュールは
こちら

※奨励金の対象となる講座
は「主催講座」です



神奈川県HP

YOKOSUKA LINKとは

横須賀市の市民協働に関する制度を活用して活動する団体の中から、市民協働審議会が選定した団体を取り上げ、その活動を紹介する「市民協働通信」です。

バックナンバーはこちらから▶

